

# 《ロジックモデル》

番号	具体的な施策(アウトプット)
----	----------------

番号	取組の方向性(中間アウトカム)
----	-----------------

番号	目指す姿(分野アウトカム)
----	---------------

1	関係機関との連携・連絡体制の確保
	指標 連携協議会の開催回数
2	有事の際の入院搬送調整体制の確保
	指標 医療措置協定(人材派遣(DMAT, DPAT))により確保する医師、看護師、業務調整員の人員数
3	医療機関の対応能力の向上
	指標 県感染症主管課および保健所が行う医療機関向けの研修・訓練の実施回数
4	衛生科学センターの体制の整備
	指標 衛生科学センターにおける訓練の実施回数
5	保健所体制の整備
	指標 健康危機管理地域調整会議開催回数 指標 保健所職員・IHEATを対象とした研修の実施回数

1	速やかに有事の体制に移行できる状態ができています
	指標 県(感染症主管課または保健所)が行う研修・訓練に参加または医療機関内で研修・訓練を実施した医療機関の割合
	指標 県感染症主管課の研修および保健所が行う遠元研修・訓練に参加した保健所職員の割合 指標 県感染症主管課の研修・訓練および保健所が行う研修・訓練に参加したIHEATの割合

6	流行初期から2次医療圏ごとに発熱外来体制を確保
	指標 流行初期に医療措置協定(発熱外来)により確保する医療機関数
7	流行初期以降においても段階的に対応可能な医療機関を確保
	指標 流行初期以降に医療措置協定(発熱外来)により確保する医療機関数
8	発熱外来患者に対応できる検査能力の確保
	指標 衛生科学センターの1日あたり核酸検出検査可能数 指標 検査措置協定により確保する1日あたりの核酸検出検査可能数

2	どこでも安心して受診・相談できる体制が構築されている
	指標 発熱外来の協定を締結する病院・診療所の割合
	指標 協定により確保した流行初期に対応可能な1日あたりの発熱患者数の合計/流行初期の1日あたりの想定患者数 指標 協定により確保した流行初期以降に対応可能な1日あたりの発熱患者数の合計/流行初期以降の1日あたりの想定患者数

1	誰もが症状に応じて適切な医療にアクセスすることができるとともに、安心して療養生活を送ることができる
	指標 中間アウトカムの達成率

9	いつでもどこでも入院対応可能な病床の確保
	指標 医療圏域毎に、流行初期に確保する病床数 指標 医療圏域毎に、流行初期以降に確保する病床数
10	回復期患者等の転院先となる医療機関の充実
	指標 後方支援に関する協定を締結する医療機関数
11	重症者用病床の確保
	指標 医療措置協定により確保した重症者用病床数
12	移送手段の確保
	指標 民間救急事業者・消防機関との協定締結数

3	必要な時に重症度に応じて安心して入院できる体制が構築されている
	指標 病床確保の協定を締結する病院・有床診療所の割合

13	安心して自宅・施設療養できる体制の整備
	指標 協定により確保した往診、電話・オンライン診療を行う医療機関数
	指標 協定により確保した自宅療養者等への医療の提供を行う薬局数
14	安心して宿泊療養できる体制の整備
	指標 協定により確保した自宅療養者等へ医療の提供を行う訪問看護事業所数 指標 協定により確保した宿泊施設の居室数

4	誰もが安心して自宅・施設・宿泊療養できる地域の医療福祉の連携体制が構築されている
	指標 医療機関と提携している高齢者施設等の割合